

「個別の指導計画」記入例 5

「学年相応の学力があるが、相手や周囲の状況を判断して行動することが難しく、情緒不安定になったり友達とトラブルになってしまったりすることが多い」
中学校 1 年生の記入例です。

様式 1 は、各教科に共通する指導の目標を記入しています。

様式 2 は、学級の年間指導計画に、特に支援や配慮が必要となる教科や単元、学校行事等を網掛けで示すとともに、「その他」に、学級運営上の工夫を記入しています。

学年・組	1 年 組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏 名				平成 年4月～平成 年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)		教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	
---------------------------	--	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
教科 ・ 業 ・ 参 領 加 域 等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面での遅れは特になく、情緒が安定していれば、授業参加もスムーズである。 ・聞くことによる情報の理解が不十分なため、何度も繰り返し同じ質問をすることがある。 ・学年相応の計算問題はほぼできる。 ・行動力があり、考えて物事に取り組むよりは、感覚的(直感的)に行動することが多い。 ・国語や社会の授業では、自分の考えを書くといった作業は敬遠しがちである。 ・細かいことは気にしないため、指摘された間違いの見直しに応じることが少ない。 ・釣りやパソコンに関する知識が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業という場を意識して参加することができる。 ・説明や指示を聞き取る力を高める。 ・伝えたい内容を筋道を立てて考え、書くことができる。
対 人 関 係 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	<ul style="list-style-type: none"> ・場の雰囲気を読み取ることが苦手である。 ・情緒が不安定になると泣いたり、人をたたいたりすることがある。 ・自分に自信がもちにくいいため、否定的な言葉に敏感になってしまう。 ・自分の興味関心や疑問を優先するあまり、結果として、相手や周囲の状況を判断して行動することが難しくなってしまう。 ・こだわりや、独り言などがみられる。 ・相手に合わせた言葉遣いができ、特に年長者とは敬語で会話できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とトラブルがあったとき、その原因を考えることができる。 ・担任に申し出て教室を出ることで気持ちを落ち着かせることができる。 ・相手の状況を考えて、かかわり方を考えることができる。 ・声かけやカードによる促しに応じて、行動に移ることができる。 ・友達に対する要求を言葉で伝えることができる。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・こだわりが強く、情緒不安定になったり、友達とトラブルになったりすることが多いが、本生徒人は周囲の生徒と仲良くし、仲間をつくりたいと思っている。 ・授業中に情緒が不安定になったときは、基本的に授業担当者が対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのよさや個性を認め合う学級づくりに努める。 ・家庭と連携し、生活環境における刺激や情報量の抑制や制限を検討する。

学年・組		1年組			氏名								
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
教科領域等	国語	4 詩「朝のり レー」 「聞きひた る」 物語「竜」	5 日本語の音 声 説明文「く じらの飲み 水」	6 討論ゲーム 漢字の成り 立ち	7 漢字の組み 立て 随筆「アイ スキャンデ イー売り」	9 ことばのま とまり 文の組み立 て 論説「玄閣 扉」	10 報告・レポ ートを書く 話し言葉と 書き言葉 古典「かく や姫」	11 古典「矛盾」 漢字の部首 物語「空中 ブランコ乗 り」	12 体験文を書 く 文法「単語 ・名詞」	1 報告「食感 のオノマト ペ」 詩「ウソ」 小説「トロ ッコ」	2 スピーチ 台詞とト書 き 漢字の字体 ・画数・筆 順	3 学校案内・ パンフレッ トづくり	
	社会	<地理> 地球の姿 世界の国々 の姿 <歴史>	日本の姿	歴史の流れ と地域の歴 史	古代国家と 東アジア	貴族の政治	武家政治と東アジア	山口県を調べよう	自分の好きな県を調べよう				
	数学	正の数・負 の数 加法・減法	加法・減法 乗法・除法	文字と式	式の計算	等式の性質 一次方程式	一次方程式 比例	比例 反比例	反比例 平面図形の 基礎	平面図形の 基礎 いろいろな 作図	空間図形の 基礎 立体の構成	図形の計算	
	理科	身の回りの 生物の観察 植物のつくり と働き	植物のつくり と働き	植物のつくり と働き 植物の仲間	光と音	光と音 力と圧力	力と圧力	地層の過去 の様子 地層と堆積 岩	火山と火成 岩 地震と大地 の変動	地震と大地 の變動 身の回りの 物質 物の状態の 変化	物の状態の 変化 気体の性質	水溶液の性 質	
	音楽	校歌 リコーダーの基礎 演奏の基礎 鑑賞「魔王」	発声練習	合唱の響き 合唱コンクール課題曲・自由曲	我が祖国 「フルタハ」 雅楽「越天 楽」	郷土の音楽	卒業式に向けて 混声合唱	アンサンブル					
	美術	美術との出会い スケッチの楽しみ クロッキー	色の広がり、色の魅力 楽しいメッセージ レタリング 美術作品との出会い	自然を生かして やさしさのデザイン 版画表現の楽しみ	周知の楽しみ								
	保健体育	体づくり運動 体育に関する知識	短距離走 リレー	バレーボール 心身の発達 と心の健康	バレーボール	陸上競技 (幅跳び)	陸上競技 マット運動 跳び箱	柔道 心身の発達 と心の健康	長距離走	サッカー 長距離走	サッカー 心身の発達 と心の健康	サッカー	
	技術	技術と生活 <製品の設計> 導入	製品の決定 製品の考案	材料の選定 作成の方法	製図	<製品の製作> 導入 製作の準備 けがき 材料の切断 部品加工 組み立て 仕上げ						技術ともの づくりの未 来	
	家庭	自分の衣服	衣服の選び 方	衣服の材料	衣服の清潔	住まい 家族 住まい方の 工夫	室内環境 室内の安全 性 住まいの清 潔	商品の選択 と購入 販売方法と 支払い トラブルの 解決	季節と月 秋の散策	道案内 ニックの一 時帰国	消費生活と 環境 家庭のはた ちき 家族関係 地域生活	毎日の食事 食習慣と食 事の役割	食品の栄養 と栄養素
	英語	アルファベ ット 英語でいえ るかな	新しい友達 との出会い 外国からの 転校生	クラブ紹介 人物紹介ク イズ 曜日	好きな物 自己紹介 数詞の足し 算・引き算	海外の学校 生活 時間割	ニックの家 庭(家族の 呼び方) フリーマー ケット	季節と月 秋の散策	道案内 ニックの一 時帰国	ニックの一 時帰国 電話で話そ う(電話の 応答)	マリアの国 ブラジル 英語絵日記	クロスワ ードパズル	
	特別活動	中学生にな って 学級作り 遠足	体育大会の 取組 学習の方法	進路学習 クラスマッ チ	1学期の反 省 夏休みの生 活	学級作り 私にできる こと	文化祭の取 組 グループの 一員 生命の創造 として	文化祭の反 省 生命の創造	生徒会選挙 クラスマッ チ	学級作り 男女理解と 協力	自分の特色 ・友人のよ さ 職業	卒業式の取 組 1年間の反 省と進級	
	道徳	真実愛 理想の実現 国際理解 人類愛	基本的生活 習慣 家族愛 生命の尊重	責任感 強い意志 異性理解	友情 畏敬の念 自然愛護	生命の尊重 公徳心 生きる喜び	礼儀 思いやり 愛校心	きまりを守 る 正義 国民として の自覚	基本的生活 習慣 謙虚な心 広い心	集団生活の 向上 生きる喜び 自主自律	郷土愛 家族愛 自然愛護	勤労と奉仕 思いやり 個性の伸長	
	総合的な学習の時間	総合的な学 習の時間の 説明	絵本作りの 説明・計画 テーマ設定 ・シナリオ づくり 絵本の製作	地域ボラン ティア ボランティア の反省と 課題設定 計画立案	施設訪問 事後指導 アンケート ・感想文	文化祭発表 への取組 グループの まとめ	文化祭の発 表 「読み聞か せ」の計画 準備	「読み聞か せ」活動 訪問活動の まとめ	地域ボラン ティア	総合的な学習の時間のま とめ			
	学校行事	就任式 始業式 大掃除 入学式 離任式 身体測定	体育大会予 行 体育大会 健康診断	生徒総会 市総合体育 大会	大掃除 終業式	始業式 宿泊学習	文化祭	総合文化行 事	生徒会役員 選挙 大掃除 終業式	始業式 大掃除	大掃除	卒業式 修了式 大掃除	
	<p>所属学級の年間指導計画(進度表)を転記します。あるいは、既存の計画を添付したり差し込んだりする方法も考えられます。その際、特に配慮や支援が必要となる教科や単元、学校行事等に網掛けをしておくと年間の見通しがもちやすくなります。</p>												
その他	<p><学級運営上の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の短学活での1分間スピーチの事前指導を個別に実施 当番の仕事内容を絵付きの表で掲示 あいさつ、着席、話の聞き方、メモをとること等を学級全体で毎時間確認 係の発表場面を学級活動の中に設定 <p>生活面の課題については、校内委員会等で検討し、学習活動全体で指導</p>												

学年・組		1年組	氏名							
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録							
			指導の			評		価		
			目	内	方	指導の経過と評価		検討課題 (次学期に向けて)		
			標	容	法					
教科 領域 等	<ul style="list-style-type: none"> 教師の発問や他の生徒の話最後まで聞くことができる。 授業の中で教師の指示を意識して聞くことができる。 自分の考えをまとめ順序立てて短い文に書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安定しているときに、挙手をして指名されてから答えるという適切な発表の仕方を示す。 落ち着いて発言を聞くことができたときには、その努力を称賛する。 指示の言葉を短くする。 話の前に注意を喚起する声かけをする。 何を書くのかを最初に正確に伝える。 ひな形となる項目(始めに、次に、最後に)を提示する。 ヒントとなる文字や絵、写真などを示す。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 自分の発言の順番を待つことができた。 事前の声かけに注意を向けることができた。 何から先にすればよいのかという優先順位をつけられず、周囲の行動とずれてしまうことがあった。 思い出した項目をカードにして並び替えると文を書くことができた。 一度並べてしまうと修正することが難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続し、自分がとった行動に自信をもたせるようにしたい。 一つの指示による行動ができたなら次の指示を出すようにする。 指示を絵や文字で表す工夫をする。 支援員が、並び替えたカードをもとにしっかり話をさせて、その内容を確かめてから発表させる。 			
			3	3	3					
			2	2	2					
対人 関係 生活 面	<ul style="list-style-type: none"> 不安定になって教室から出て、落ち着いたら教室に戻ることができる。 友達とトラブルになったときに、友達の気持ちについて教師と一緒に考えることができる。 要求、感謝、拒否の自分の気持ちを短い言葉で表すことができる。 自分の話を聞いてもらえない状況にあっても怒らず、かわり方を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室から出たことを叱責しない。 保健室や相談室を一人で休む場所とすることを約束する。 トラブルのきっかけとなった事態を教師と一緒に振り返る機会を設ける。 落ち着いている状況で、どうすればよかったか話し合う。 学活の時間等でロールプレイやゲームを取り入れ、場面にあった適切な言葉遣いを学習させる。 本生徒の話を聞けない状況にあるときは、その理由を説明して待たせる。 言いたいことをメモさせる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ひどく不安定になることは徐々に減ってきた。 友達の言動から相談室に行くことが多い状況は変わらない。 自分の気持ちを担任に話すことができた。 相手の気持ちや周囲の迷惑については、考えることを避けていた。 教師と一対一のときや親しい友達に対しては言葉で表現できた。 落ち着いているときには、説明を理解して待ったり、待っている間に書いたメモにより、伝えたいことを話したりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況を見て、教室から一度出て落ち着くよう促す。 我慢できなくなったら自分から申し出るようにする。 本生徒が感じているつらさや悔しさを理解するよう努める。 自分の気持ちを言葉にして伝えるようにさせたい。 本児の気弱な面を理解し、指導にあたるのが大切である。 引き続き、あいさつと返事も含め、繰り返し指導して習慣化を図る。 			
			3	3	3					
			2	2	2					
			1	1	1					